



耳鳴りにお困りの方

難聴にお困りの方

デジタル補聴器

音が聞こえる仕組み

アレルギーの仕組み

リンク集

各治療法の特徴

[TOP\(耳鼻科\)](#) > [アレルギーの仕組み](#) > 各治療法の特徴

印刷して読まれる方は[こちら](#)

### 局所ステロイド薬の特徴

- 効果は強い。
- 効果発現が比較的早い。
- 副作用が少ない。
- クシャミ、鼻水、鼻閉に等しく効果がある。
- 投与部位（鼻腔粘膜）にのみ効果が発現する。

(鼻アレルギー診療ガイドラインより引用)

### 特異的免疫療法の特徴

- 長期寛解や治癒が期待できる。
- 効果発現は遅い。
- 長期（2～3年）の定期的注射が必要である。
- 稀ながら重篤な副作用（全身アナフィラキシー反応）を起こす。
- 抗原の検索が必要である。

(鼻アレルギー診療ガイドラインより引用)

### 自然治癒率・軽快率

- 鼻アレルギーの軽快率は **15.2** %。
- 喘息（**45.4**）アトピー性皮膚炎（**26.3**）に比べて低率。
- 増悪率は **45.8** % で、喘息（**18.1**）アトピー性皮膚炎（**34.2**）に比べて高い。
- スギ花粉症の自然治癒率は **1.97** % と推定。

(鼻アレルギー診療ガイドラインより引用)

### 妊婦への対応

- 妊娠初期から4ヶ月の半ばまでは、原則として薬物の投与を避ける。
- 鼻閉には、温熱療法、入浴、蒸しタオルなどにより加温・加湿を行う。
- 妊娠4ヶ月以降では、点鼻薬（インタール、シナクリンなど）を用いる。

（鼻アレルギー診療ガイドラインより引用）

## デポステロイド筋注療法

デポステロイドの筋注を花粉症に行う医師がいるが、全身的副作用に注意し、投与前後の検査を怠ってはならない。

時に副作用（満月様顔貌、皮膚・皮膚付属器障害、月経異常、筋萎縮、副腎皮質機能低下など）が起こるので、**この方法は望ましくない。**

（鼻アレルギー診療ガイドラインより引用）



前のページ



次のページ

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| ● <a href="#">アレルギー反応とは</a>            | ● <a href="#">アレルギー性鼻炎の治療法</a> |
| ● <a href="#">鼻炎の病名とその定義</a>           | ● <a href="#">各治療法の特徴</a>      |
| ● <a href="#">アレルギー性鼻炎発症のなりたち</a>      | ● <a href="#">まとめ</a>          |
| ● <a href="#">いつ頃から増えて、現在はどうなっているか</a> |                                |